

前期日程 総合問題

第1問 (200点)

【出題意図】

問題文は、細川英雄「言語・文化・アイデンティティの壁を越えて——ともに生きる社会のための対話環境づくりへ」佐藤慎司・佐伯胖編『かかわることば——参加し対話する教育・研究へのいざない』(東京大学出版会, 2017年)からの抜粋である。本論文は、言語や文化が違うことが、何かうまくいかないことの原因となる、すなわち「壁」として扱われることに、疑問を投げかける。言語学によって区切られた外に現れる言語、思考と言語を結びつける言葉、身体感覚や感情、思考をまとめた各個人ごとのことばの3つの概念の違いを論じ、言語や文化が違うこと、同じであることは本当に安心で心地よい関係にあるのかと問いかけ、再考を促している。

問題解決に向けて主体的に行動しようとする意欲、大学における学びにおいて必要とされる長文の読解力、自身の見解を論理的に説明できる文章構成力、新たな課題に対して関心・意欲を持ち、根拠に基づいた自分の意見を筋道立ててまとめることのできる能力を問う内容となっている。

問1 (10点)

【出題意図】

著者の議論の導入部で提示する「壁」という言葉の意味を理解し、注意深く本文を読んだ上で、文中の具体例と的確に結びつける読解力を問う。

【正解】

④

問2 (20点)

【出題意図】

「かかわらない言葉」は、平易な言葉であるように見えるが抽象的であり、本文中で「ことば」と並ぶ重要な概念である。答えとなる一文が明示される文章まで、明確な説明がなくとも大意を前後の文脈から読み進める読解力が必要である。また、接続詞の理解から文章の論理的読解力を問う。

【解答例】

人と人の関係性から離れ、集団の観察者として分析的にのみ対象を見ること(34字)

問3 (10点×3)

【出題意図】

本論文のテーマである「言語」「言葉」「ことば」は、様々に説明されている。それらの内容を正確に差別化し、体系的把握できているか、その読解力を問う。

【正解】

イ ② ロ ④ ハ ①

問4 (40点)

【出題意図】

この箇所では筆者が、私たちの日常生活の中に満ち溢れている思い込みと常識を、言語と文化、そして集団の境界に対する固定観念として位置づけていることを文中から読み取れるかどうか、その読解力を問う。

【解答例】

近代の国家政策として国家＝国語＝〇〇人という単一の社会通念がつけられ、学校教育を通して人々の中に無批判に受け入れられ、社会に深く入り込む形で形成されてきた。(78字)

問5 (100点)

【出題意図】

本問題は、私たちがいつの間にか持っている「かかわらない言葉」の壁の感覚イメージを、受験生が日常生活の経験と結びつけることができるかどうか、その上でこれまでの社会通念から離れて、個人レベルにおいてどのような方法で他者と開かれた社会をつくるのかを問うている。

本文中にある一連の問題についての読解力、それらを自らの具体的な経験として表現する力、記述した具体的な事例を他者との対話の環境づくりという筆者の主張に引きつけて自分の主張を論理的に展開する思考力を問う。

【解答例】

省略

第2問

問1 You try to take the easy option whenever possible. For example, if you have a car, you never ride a bicycle to the supermarket.

問2

1) 実験参加者は電話も本も、気を紛らわすものはなにもない部屋で、眠ることのないよう指示され、また、足首には電極がつけられ、ボタンを押すと電気ショックがくることが示されたうえ、15分間その部屋でひとりにされた。

2) 誰も自分に電気ショックを与える者などいない。

3) 参加者のうち、71%の男性、25%の女性が少なくとも1回は自分に電気ショックを与え、ある男性は190回もそうしていた。何もすることがないということにひとは耐え難く、多くの参加者が何もしないより、自分に苦痛を与えることを選んだのである。

問3 ひとは時に、最小限の努力で済ませるより、より多くの努力を必要とする方を選ぶ傾向があり、例えば、インターネットで正解を見つけるより自分でクロスワードパズルを解いたり、健康維持に必要以上の距離を走るマラソンを行ってみたり、極地への冒険に挑戦してみたりすることがある。

問4 絵を描いたり、庭仕事をするような活動がもたらすもので、我々が夢中になり、時間が経つことや悩みを忘れるような状態。

問5 Although it may not be true in every situation or for every person, the idea that people learn to enjoy making effort is true for me. For example, in elementary school I was smaller than most of my classmates. I could not run fast. I could not jump high. I was really bad at volleyball. I began to hate all sports. My parents worried about my health, so they decided I should go to swimming lessons. I did not want to go, but they said I could quit after a month, if I went to every lesson. So I agreed to try. The first lesson was not so hard. The teachers taught us how to float on our backs and how to kick while holding on to the side of the pool. The second lesson was more difficult. We had to let go of the side of the pool. It was scary, and I thought I would die, but I did it. Every lesson after that was very tiring. My arms and legs felt like rubber when I finished. But, by the end of the month, I could swim across the short length of the pool. The effort of learning to swim became fun, and I have been swimming ever since.